

「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」募集

平成 26 年 6 月末日締切で食品の安全、感染症、生活環境衛生に関する研究論文を公募
副賞賞金 100 万円を贈呈

一般財団法人 東京顕微鏡院
医療法人社団 こころとからだの元気プラザ

「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」募集について：

今年度の重点課題は、食品の安全、感染症、生活環境衛生に関わる研究です。

- 食品の安全 たとえば、食品やヒト媒介微生物、残留化学物質、天然有毒・有害物質、食品添加物、食物アレルギー、器具・容器包装などに関する調査研究やこれらの分析法の開発、食品中の放射能汚染など、食品の安全に関わるもの
- 生活環境衛生 たとえば、シックハウス、アスベストやダニ、カビなど室内環境、大気汚染、ビル衛生、飲料水の安全性、水と感染症の問題など

- * 対象：日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ
- * 応募書類：所定の応募・推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文
- * 応募期間：平成 26 年 4 月 1 日より 6 月 30 日（消印有効）
- * 副賞：賞金 100 万円

- ※ 原則として最近の業績を評価対象とします。業績とは、この 5 年間に関連学会で発表された原著論文とします。
- ※ 遠山椿吉賞選考委員会において論文を選考の上、1 件を採択し、10 月に発表します。授賞式および記念講演、レセプションは、平成 27 年 2 月 17 日(火)に開催の予定。
- ※ 優れた業績がある 50 歳未満の応募者（年齢は応募時点）に対して、本賞以外に奨励賞を設け、また年齢に関わらず顕著な業績が認められる応募者に対して本賞以外に特別賞を設け、顕彰する場合があります。奨励賞の受賞は、将来の遠山椿吉賞の応募・受賞を妨げるものではありません。

詳しくは、一般財団法人東京顕微鏡院ホームページ <http://www.kenko-kenbi.or.jp/> をご覧ください。

本賞の趣旨：

日本の公衆衛生において、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点で、地道に社会への貢献を追求する研究者（個人および研究グループ）を顕彰する賞と位置づけています。創業者生誕 150 年を記念し、平成 20 年に創設。

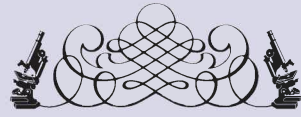
遠山椿吉とは：

遠山椿吉は、明治時代に、日本で初めて臨床検査の民間専門機関「東京顕微鏡院」を創立し、人々のいのちを守るため公衆衛生に力を尽くした細菌学者・医学博士。初代東京市衛生試験所所長を兼任し、東京に安全な水道水の供給を実現して伝染病予防に努め、予防医療を提唱し健康診査や衛生指導を実施しました。

臨床検査、飲料水等の検査、顕微鏡技術者養成、顕微鏡検定、学会誌発行などを展開するとともに、市民に対する啓発活動に努めました。

明治 41 年ロベルト・コッホ博士来日の折は、コッホ博士、北里柴三郎博士を招いて「生花の会」を催し、共にひと時を過ごしています。

報道機関からのお問い合わせ先：
一般財団法人東京顕微鏡院 公益事業室 担当 水戸、三橋（みつはし）
TEL:03-5210-6651 メール：mito@kenko-kenbi.or.jp
ホームページ：http://www.kenko-kenbi.or.jp/ http://www.genkiplaza.or.jp/



Tinkiti Toyama Memorial Award
for Food and Environmental Sciences

「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」 募集

- ◇ 対象：日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ
- ◇ 応募書類：所定の応募・推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文
*原則として最近の業績（調査、研究、技術の開発など）を評価対象とします。業績とは、この5年間に
関連学会で発表された原著論文とします。
- ◇ 応募期間：2014年4月1日より6月30日（消印有効）
- ◇ 賞および副賞：賞状、記念品。副賞として100万円。
- ◇ 重点課題：『食品の安全、感染症、生活環境衛生に先見的に着手したもの』
詳しくは、東京顕微鏡院 HP をご覧ください。

公衆衛生の明日を切り拓く、優秀な研究成果をご推薦、ご応募ください。

遠山椿吉賞とは、日本の公衆衛生において、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点を持ち、地道に社会への貢献を追求する研究者（個人および研究グループ）を顕彰する賞です。賞は、「遠山椿吉記念食と環境の科学賞」と「遠山椿吉記念健康予防医療賞」の2部門あり、隔年で選考顕彰いたします。今年度は、「第4回食と環境の科学賞」を募集いたします。

*優れた業績がある50歳未満の応募者に対して本賞以外に奨励賞を設け（年齢は応募時点）、また、年齢に関わらず顕著な業績が認められる応募者に対して本賞以外に特別賞を設け、顕彰する場合があります。

*奨励賞の受賞は、将来の遠山椿吉賞の応募・受賞を妨げるものではありません。

3つの世紀にわたるあゆみ

2011年4月、120周年を迎えた東京顕微鏡院、こころとからだの元氣プラザは、すべての人びとのいのちと環境のため、公衆衛生の向上に貢献しています。



1891年、東京顕微鏡院の前身「東京顕微鏡検査所」を創設。顕微鏡技術講習、飲料水等の検査を順次開始。



1907年：保健部を新設し健康診査と衛生相談を開始



1967年：職域の健康診断業務を開始（写真は現在のこころとからだの元氣プラザ（飯田橋施設））



1975年：食品衛生検査所を開設（写真は現在の豊海研究所）



2003年：こころとからだの元氣プラザを飯田橋に設立（当財団保健医療部門を統合・拡充し、独立）



2008年：創業者遠山椿吉生誕150年、没後80年を記念して、遠山椿吉賞を創設

一般財団法人 東京顕微鏡院 / 医療法人社団 **こころとからだの元氣プラザ**

拠点：市ヶ谷本院、豊海研究所、立川研究所

拠点：飯田橋施設、元氣プラザ臨床検査センター、市ヶ谷施設

東京都千代田区九段南4-8-32 〒102-8288 ●ホームページ <http://www.kenko-kenbi.or.jp> 一般財団法人東京顕微鏡院 公益事業室 03-5210-6651